

江戸へ百七十里 (1962)

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 B&W

時間 84分

初公開日 1962/07/29

【解説】

山手樹一郎の同名小説を「日本一の若大将」の笠原良三が脚色し「新悪名」の森一生が監督。「中山七里」の市川雷蔵と「恋や恋なすな恋」の嵯峨三智子が主演した。市川雷蔵お得意の「瓜二つの若殿と浪人の兄弟」が巻き起こす騒動を描く。

津山藩国許家老の中橋茂右衛門を一人の浪人が訪ねた。長谷部兵馬と名乗る男、実は藩主小森佐渡守高久の落胤だったから茂右衛門は大あわて。小森家は正嫡亀之助を支持する茂右衛門一派と、妾腹の千代五郎を推す次席家老手塚勘解由らの一派とでお家騒動の真っ最中だったのだ。兵馬は小森家との絶縁を条件に大金を手に入れ、一人旅に出た先で松平福姫と知り合い意気投合。福姫は明日、亀之助とお見合いさせられると言う。その夜、茂右衛門の息子が現れ、亀之助の替え玉としてお見合いの席に出てほしいと兵馬に頼むのだった。

【クレジット】

監督 森一生

企画 財前定生

原作 山手樹一郎

脚本 笠原良三

撮影 今井ひろし

美術 西岡善信

音楽 斎藤一郎

出演 市川雷蔵 長谷部平馬／小森亀之助

嵯峨三智子 松平福姫

中村鴈治郎 塚越助左衛門

真城千都世 楓

島田竜三 穴戸丈之進

柳永二郎 土井信濃守

五月みどり 桔梗

荒木忍